

せせらぎ” 第33号

平成 27 年 1 月 1 日 / 発行 : 東御市文化協会 / 電話 : 0268 (75) 2717 / <http://tomi-bunkakyoukai.jp/> / 印刷 : 田口印刷株式会社

熱演! 祢津東町歌舞伎長野公演



祢津東町歌舞伎保存会 (写真上) と祢津小学校子ども歌舞伎クラブ (写真下2点) が、平成 26 年 11 月 16 日 (日) に長野市若里のホクト文化ホール (県民文化会館) で初めて長野公演を行いました。

情感のこもった義太夫と役者衆の熱演に、会場からおひねりが次々と投げ入れられました。

平成26年度東御市文化協会総会

平成26年度東御市文化協会総会が4月17日に中央公民館で行われました。(左写真)

新役員の報告承認においては、会長の貢甚一郎さんが退任され、新会長に高藤俊幸さん、新副会長に庄村茂さんが選任されました。

また、長年に渡り、指導者として多くの文化協会を支えていただいた上原けさえさん(舞踊部会)と小林清枝さん(華道部会)が功労者として表彰されました。

文化協会の活動に貢献された前役員の関義豊さん(前顧問)、関誠さん(前副会長)、青木嘉子さん(前副会長)、赤堀峰春さん(前幹事)、渡辺照子さん(前幹事)に感謝状が授与されました。



退任あいさつ

東御市文化協会前会長 貢 甚一郎

平成19年6月から7年弱に亘り、会長職を務めさせて頂きました。任期中は皆様のご協力とご支援を頂き、無事職務を全う出来ましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

任期中は少子高齢化の進む中、伝統ある東御市文化協会の進む道について、皆様と共に考え、活動させて頂きました。

結びに、東御市文化協会の更なる発展と、会員の皆さま方のご健康を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

新任あいさつ

東御市文化協会副会長 庄村 茂

4月より、東御市文化協会の副会長という重責を仰せつかり、微力ながら務めさせて頂きました。

合唱部会に所属し、協会には今年で23年お世話になっていますが、今まで自分に関係する以外の文化活動には関心が薄かったので、これを良い機会とし多くの演奏会、作品展等に関わっていききたいと思います。

先般の理事会において、本年度の会員数が昨年度より74名減少の1,630名という報告がありました。高齢化による会員の減少、活動存続の懸念が言われて久しいですが、魅力ある文化のたすきをつなげていきたいものです。

功労者表彰のご紹介

舞踊部会

上原 けさえ

舞踊部



会長を8年間務めさせて頂いた

しました。今回功労賞をいただき身に余る光栄と心より感謝致します。

皆様のご支援ご協力にお礼申し上げます。協会の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

華道部会遠州流

小林 清枝

華道部



会として文化協会発足当初からお世

話になり、その間に副会長も務めさせて頂きました。皆様のご協力の賜物と感謝して居ります。ありがとうございます。

文化協会の今後益々のご発展をご祈念致します。

グループ紹介



演奏を楽しんでいます

千祥会民謡三味線クラブ

山崎 節子

千祥会三味線クラブは、30名で活動しています。

クラブの活動は30年以上になります。月に1回から2回の練習をしています。

文化協会民謡部会の発表会、各種イベント、社会福祉ボランテニア活動に参加しています。また、各区からの要請もお受けしており、演奏、唄い、踊って、皆様方に楽しんで頂いております。

クラブ紹介

絵画部会水仙の会会長

石野 公秀

昨年4月に発足したばかりの水彩画専科のクラブです。私たちは、祢津地区公民館水彩画講座を4年間学んだ者7名が、郷土の巨匠丸山晚霞の鮮細な描写を学び、現代絵に至るまで幅広い技術を習得するためにクラブ化しました。指導者は、高藤俊幸さんをお願いしています。



内容は、毎月1回第2金曜日を定例会とし、静物5回、風景7回学びます。専門用語も多く

なり、新しい技法もあり、楽しい会となっております。

展示会は当面、会としては開催できませんが、祢津地区ふれあいまつりと、市文化フェスティバルに個人参加をします。この会への入会は、市公民館主催の初心者水彩画講座を受講終了した方なら誰でも入会できます。

楽しきかな 書道

書道部会一草会

加藤かつ栄

私たちは、かな書道を中心に、月1回、高木弘子先生のご指導をいただいております。

平成16年発足、現在会員は17名で、4教室に分れて活動しています。

毎回、先生が出題して下さるお手本を元に皆で集まり、書かれる手元を見て、個々に書き始めます。宿題の添削(墨色、線、かすれ等)もいい勉強になります。

いつも教室は、ゆったりと、なごやかな雰囲気にも包まれています。

「古典を臨書し、やがて自分で題材を選んで創作出来たら、最高だね」と先生は言われます。



ライディーンに いらっしやーい

コール・ライディーン

赤堀 峰晴

コール・ライディーンは男声合唱団です。名前は東御の大力士「雷電為衛門」にあやかっつけてきました。当初は、とうみ混声合唱団の男声パートが自らのスキルアップを目指してスタートし、5年目を迎えます。合唱の魅力に取りつかれた素晴らし

い仲間も
だんだん
増えて、
今では総
勢21名。
高木先
生のご指
導と笑顔
があつた
ればこそ
の活動で
す。

今後は
今流の男
声合唱も
取り入れ
たり、人
数をさら
に倍にし
て東信にライディーンありと言わ
せ、全国に打って出たいと代表の両
角は目を輝かせています。

向日葵の会の日頃

向日葵の会

田中夏代子

向日葵の会は、4月に文化協会
に入会し、北御牧支所の2階で週



1回、木曜日に健康維持に励んで
います。

午前中10時から11時半まで、宮
川先生と桜井先生のご指導のもと
日々の生活レベルの向上をめざして
います。

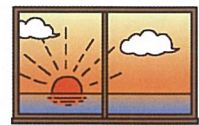
前半は、音楽にあわせて呼吸法
とともに気功体操で体を動かしま
す。後半は太極拳で足腰の日頃使
わない筋肉を鍛えています。

会員は、体の不調や日頃の生活
の事象を考慮しながら、「継続は力
なり」で頑張っています。この活動
を長く続けられるよう、励ましあ
いたいと思います。



平成26年を振り返って

1月1日	せせらぎ第32号発行
1月5日	新春書き初め大会
2月7日～9日	第10回書道部会会員展
2月10日～14日	第5回彩明会12人展
3月9日	第22回邦楽部会発表会
3月16日	第35回舞踊部会発表会
4月17日	平成26年度文化協会総会
4月21日～27日	第64回東御美術会会員展
5月12日～18日	第19回香東会書展
5月18日	ダンススピリッツスプリングパーティー
6月8日	第45回聖風流東部吟道会温習大会
6月22日	千月流民謡道千祥会40周年記念大会
7月7日～13日	第8回写遊とうみ写真展
7月28日	第25回東御市文化協会長杯囲碁大会
8月18日～24日	第18回写団SFCちいさなちいさな写真展
8月31日	第19回カラオケ部会発表会
9月25日	文化協会役員研修旅行
11月1日～2日	第11回東御市総合文化フェスティバル
11月8日	第30回TNSジャズ・オーケストラ定期演奏会
11月15日	第11回東御市短詩型文学祭
11月16日	第23回邦楽部会発表会
11月24日～30日	まろにえ絵画交遊倶楽部絵画展
12月7日	第11回東御市合唱祭
年3回	常任理事会
通年	三役会
通年	広報委員会
通年	せせらぎ・ホームページ更新



総合文化 フェスティバル

11月1、2日に第11回東御市総合文化フェスティバルが中央公民館全館で開催されました。約1,000点以上の作品等が集まり、文化の薫る秋に彩りを添えました。



押し花：いつまでも大好きな花を楽しみたい



小中学校児童生徒作品：いっしょけんめい描いたよ



身体障害者福祉協会：今年もいろいろな作品に挑戦しました



生涯学習講座：上手に書けたかな？



ちぎり絵：質感や色彩にこだわっています



表具：作品を美しく飾り立てます



リフォーム洋裁：まだまだ新しい魅力があります



写真：フレームの中に広がる無限のストーリー



木彫：一刀一刃に想いをこめ



フラワーアレンジメント：飾り方次第で色々な顔を見せてくれます



園芸：四季の移ろいを感じて



スタンドクラス：幻想的な世界観を演出



菊花：今年も立派に咲きそろいました



パッチワーク：無限の組み合わせ



陶芸：土と向き合い、ひたむきに

米津福祐さん文化講演会 「夢を追いかけて」

～ 絵画・音楽・俳句 ～

総合文化フェスティバル2日目の11月2日に、文化講演会が中央公民館講義室で開催されました。

講師は、画家で二紀会委員参与の米津福祐さん（写真）。米津さんは、人生の友として絵画・音楽・俳句と共に過ごしてきたこと、夢を追いかけることの大切さなどを講演されました。
軽快でユーモアを交えたメリハリのある米津さんの言葉に、終始笑顔の絶えない講演会となりました。



文化協会役員研修旅行

松本市美術館と

松本城下町を訪ねて

9月25日に芸術・文化の薫る松本市美術館と松本城下を訪ねました。

松本市美術館は、草間彌生^{やよい}さんなどの信州ゆかりの作家を中心とする作品を常設展示しており、その作品を鑑賞しました。

美術鑑賞の後、松本城を見ながら城下町の細い通りを歩むと、名水スポットの「源智の井戸」や土蔵造りのお店が並ぶ中町通りなど、風情ある城下町を満喫し、会員の親睦が図られた一日でした。



美術館入口庭に展示されている松本市出身の世界的に著名なアーティスト草間彌生さんの巨大な奇想天外なチューリップのオブジェの前で

編集後記

我々の取り巻く現代社会は激しく変化しており、価値観の多様化が進んでいます。幸せや豊かさの捉え方もそれぞれと言え、一人ひとりが満ち足りた時間を過ごすための「生き甲斐」の必要性が増しているように感じます。生涯をかけて追い求める「生き甲斐」の大切さは、協会員の方であれば共感していただけるのではないのでしょうか。
今年度も皆さんの活動がさらに盛んになり、「生き甲斐」探求が一步、二歩と前進することを願っています。

広報委員 馬場 功 (陶芸部会)

飯高紀志子 (短歌部会)

小林 経子 (俳句部会)

石和 敬子 (ダンス部会)

増田 宣夫 (棋道部会)

若林 哲也 (事務局)

